

ウスグロゴケ科

ヒメウスグロゴケ

Leskeella pusilla (Mitt.) Nog.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… —

■ 県内分布

養父市

■ 国内分布

本州、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

—

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

茎ははい、羽状に分枝し、枝は長さ5mm程度。茎葉は長さ1mm以下、広披針形で、漸尖して鋭頭、葉縁はほぼ全縁で平坦。中肋は葉先近くに達する。葉身細胞は丸みのある六角形で、厚角、やや厚壁。雌雄同株（異苞）。蒴柄は長さ約5mm、蒴は長卵形で直立、蒴齒は2列、外蒴齒は短く、細かいパピラがある。内蒴齒の齒突起の形は不規則で、外蒴齒よりも長い。帽は僧帽形、大型で蒴の大部分を被う。胞子は直径20-25μm。低地から山地の樹上に生える。